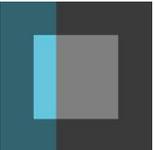




株式会社リサ・パートナーズ (#8924)

2010年12月期(第13期) 第2四半期決算説明資料

2010年 8月 11日



目次

1. 2010年12月期 第2四半期 概況	1
2. 2010年12月期 第2四半期 セグメント別ハイライト	8
3. 2010年12月期の見通し	20

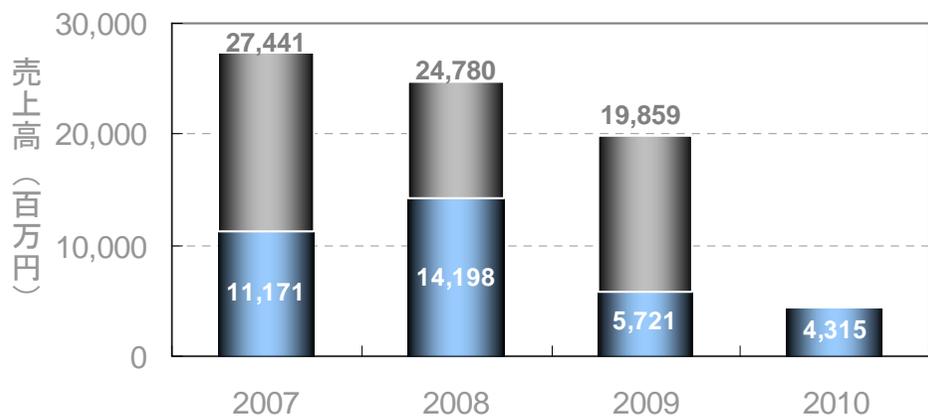
損益推移（連結）（1/2）

単位：百万円

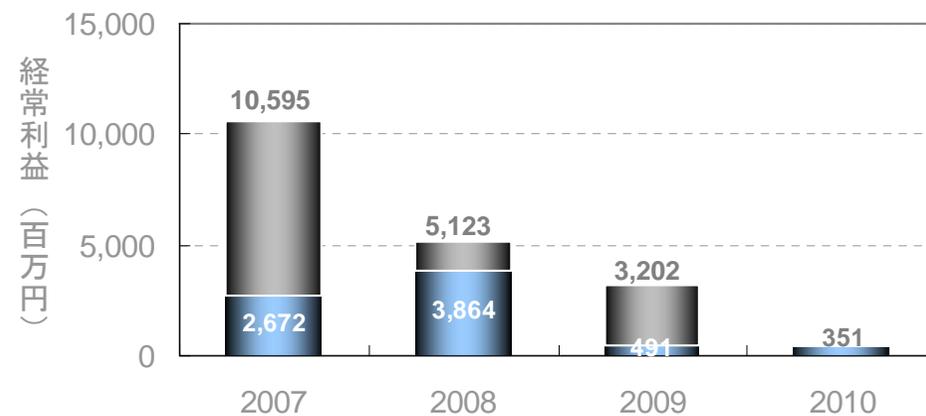
	2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期			
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	前期比	通期予想	前期比
売上高	14,198	24,780	5,721	19,859	4,315	-24.6%	36,000	81.3%
営業利益	4,951	7,991	1,231	5,092	1,370	11.2%	6,700	31.6%
経常利益	3,864	5,123	491	3,202	351	-28.5%	3,800	18.6%
当期純利益	2,943	-2,212	216	-2,786	312	44.4%	1,800	—
1株当り純利益（円）	10,162.46	-7,603.59	739.57	-9,740.55	1042.65	—	5,742.18	—

損益推移（連結）（2/2）

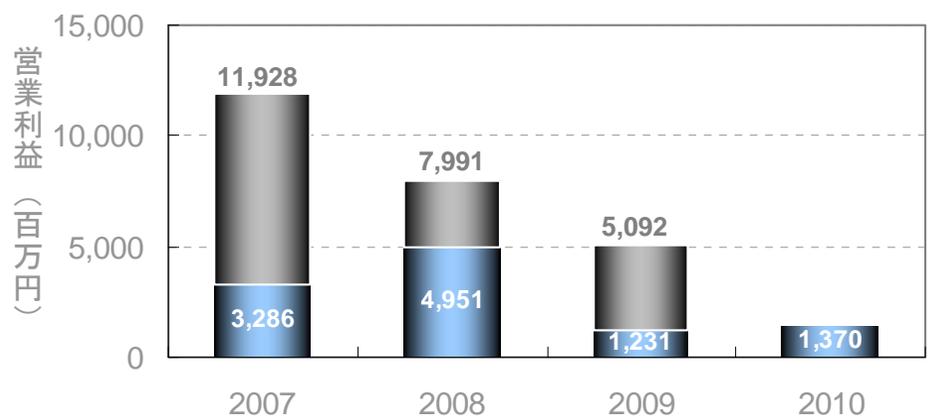
売上高



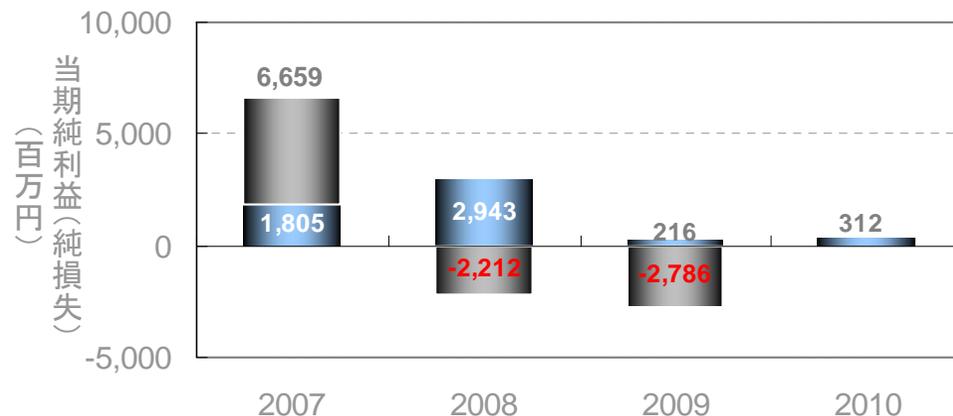
経常利益



営業利益



当期純利益（純損失）



1

収益獲得状況

安定収益 の確保

- プリンシパル投資事業：ホテル事業収益・買取債権の回収益・不動産賃料
- ファンド事業：ファンド管理報酬、不動産アセットマネジメントフィー など

2

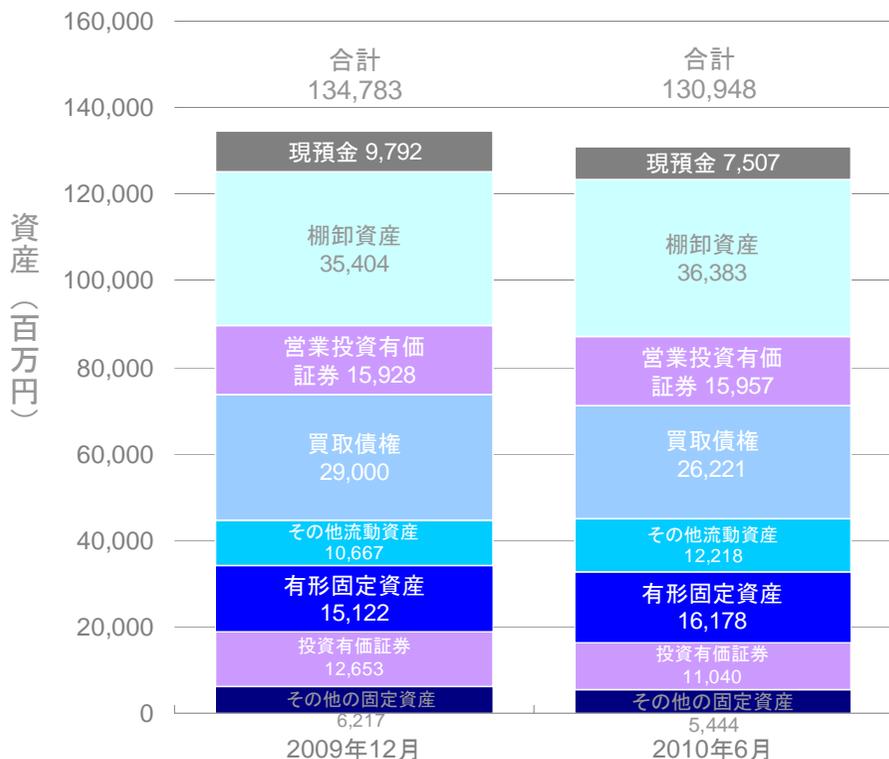
財務状況

財務基盤 の 安定化

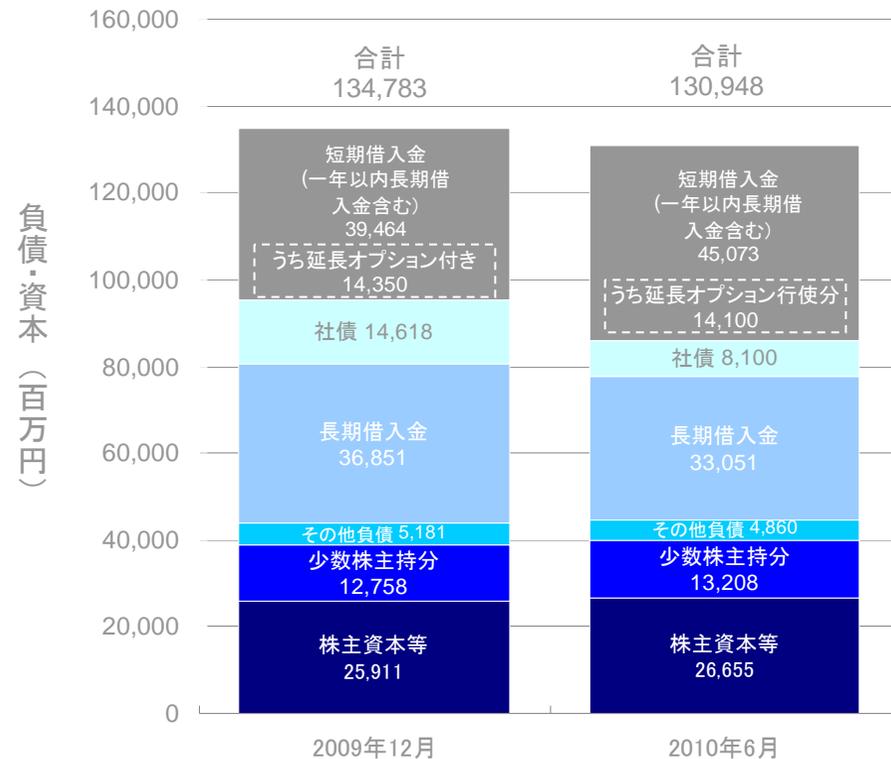
- NECキャピタルソリューションとドイツ銀行を割当先とする**転換社債型新株予約権付社債**(90億円)を発行
- 昨年に引き続き、**シンジケートローン**による長期資金の調達
- 相対取引による調達の継続

財務状況 資産・負債・資本 (連結)

資産



負債・資本



自己資本比率

19.2%

20.3%

修正自己資本比率(※)

21.2%

22.6%

※修正自己資本比率は他人持分である少数株主持分を自己資本および総資産から控除して算出したもの

資金調達状況・借入金の推移

資金調達・返済に関する取り組み

転換社債型新株予約権付社債

- ✓ 実行時期： 2010年3月
- ✓ 調達金額： 90億円
- ✓ 割当先： NECキャピタルソリューション株式会社 20億円
ドイツ銀行 70億円
- ✓ 利率： 2.5% 期間： 3年
- ✓ 当初転換価格： 51,415円(2011年1月に1回のみ下方修正条項付)
- ✓ プットオプション： 2011年3月、2012年3月
- ✓ コールオプション： 株価が当初転換価格の140%以上になった場合に可能
- ✓ 資金使途： 既発CBの償還資金

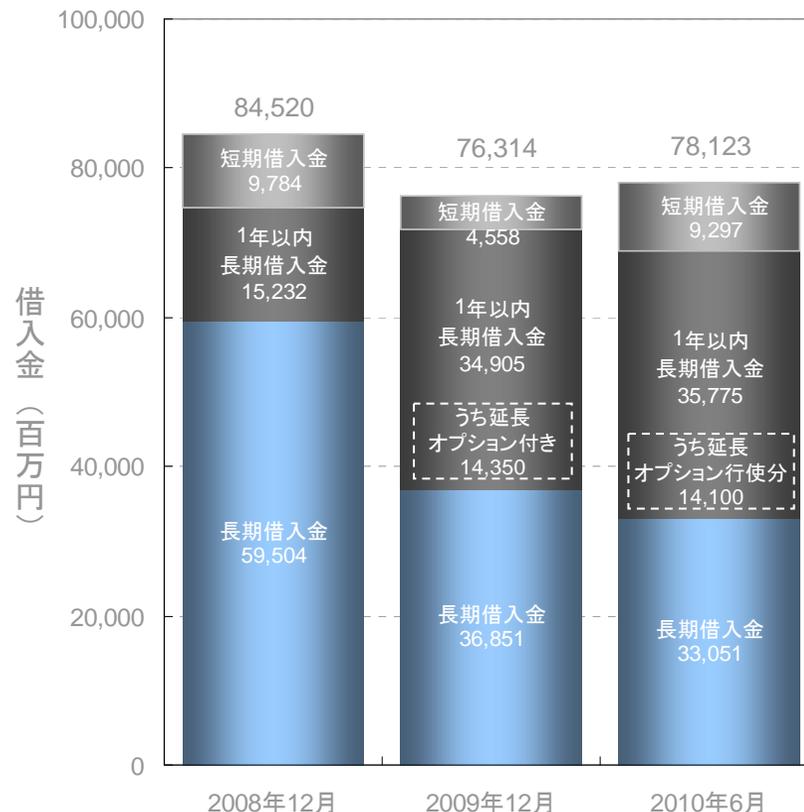
シンジケートローン

- ✓ 実行時期： 2010年3月 調達金額： 66億円
- ✓ 参加金融機関数： 10行

相対借入

- ✓ 相対取引による調達の継続

借入金の推移



- 借入金の平均金利は2%程度と、引き続き安定した金利水準での資金調達力を維持しております。

金融機関との提携状況

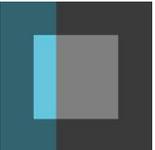
- 75の金融機関との業務提携関係が、資金調達において安定したパイプラインとなっております。

提携先金融機関の分布



業務提携金融機関名（五十音順）

愛知銀行	京葉銀行	東濃信用金庫
青木信用金庫	コザ信用金庫	東邦銀行
足利銀行	埼玉縣信用金庫	東予信用金庫
足利小山信用金庫	埼玉信用組合	長崎銀行
伊予銀行	埼玉りそな銀行	長野銀行
宇和島信用金庫	佐賀共栄銀行	西日本シティ銀行
愛媛銀行	佐原信用金庫	八幡信用金庫
愛媛信用金庫	山陰合同銀行	百十四銀行
大分銀行	滋賀銀行	飯能信用金庫
大垣共立銀行	七十七銀行	飛騨信用組合
大垣信用金庫	十八銀行	広島銀行
沖縄海邦銀行	十六銀行	びわこ銀行
沖縄銀行	荘内銀行	福島銀行
鹿児島銀行	西濃信用金庫	房総信用組合
川口信用金庫	関信用金庫	北洋銀行
川之江信用金庫	第四銀行	北陸銀行
北日本銀行	大東銀行	北海道銀行
岐阜銀行	高山信用金庫	北國銀行
岐阜商工信用組合	館山信用金庫	益田信用組合
岐阜信用金庫	千葉銀行	三島信用金庫
君津信用組合	千葉興業銀行	宮崎銀行
京都銀行	千葉信用金庫	武蔵野銀行
京都中央信用金庫	銚子商工信用組合	杜の都信用金庫
きらやか銀行	銚子信用金庫	琉球銀行
熊谷商工信用組合	東京ベイ信用金庫	山形銀行



目次

1. 2010年12月期 第2四半期 概況	1
2. 2010年12月期 第2四半期 セグメント別ハイライト	8
3. 2010年12月期の見通し	20

セグメント別・ドメイン別の粗利※1

•それぞれの事業から安定収益(ホテル事業収益、不動産賃料、ファンド管理報酬、不動産アセットマネジメントフィー)を確保しました。



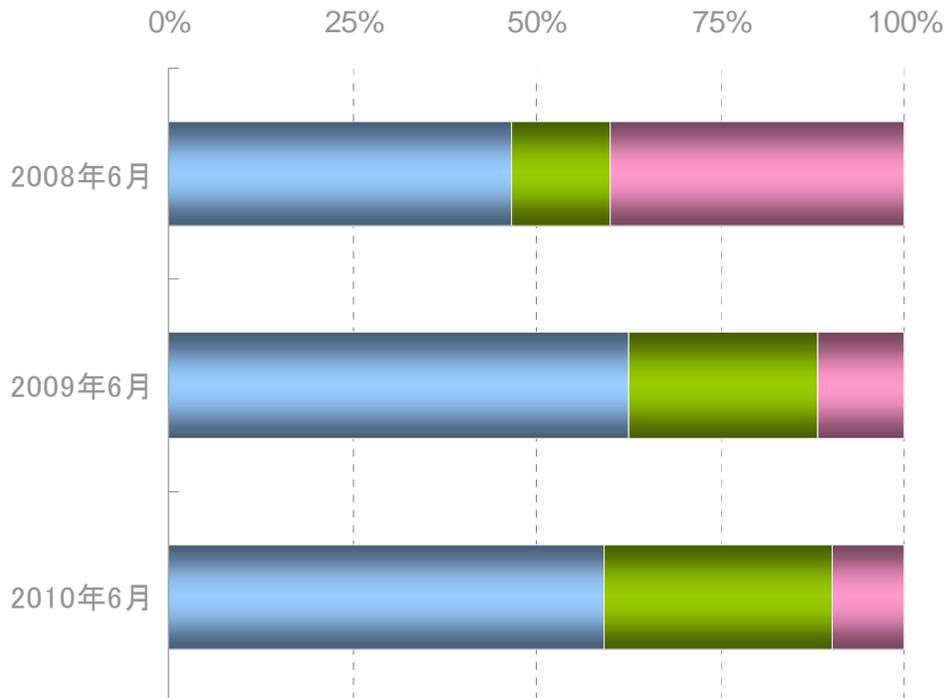
※1 内部取引控除後の粗利となります。以下、全てのスライドにおいて同様の定義とします。

※2 ソリューション・ファンドの管理報酬については、外部投資家負担分を粗利として計上しております。

セグメント別・ドメイン別粗利構成の推移

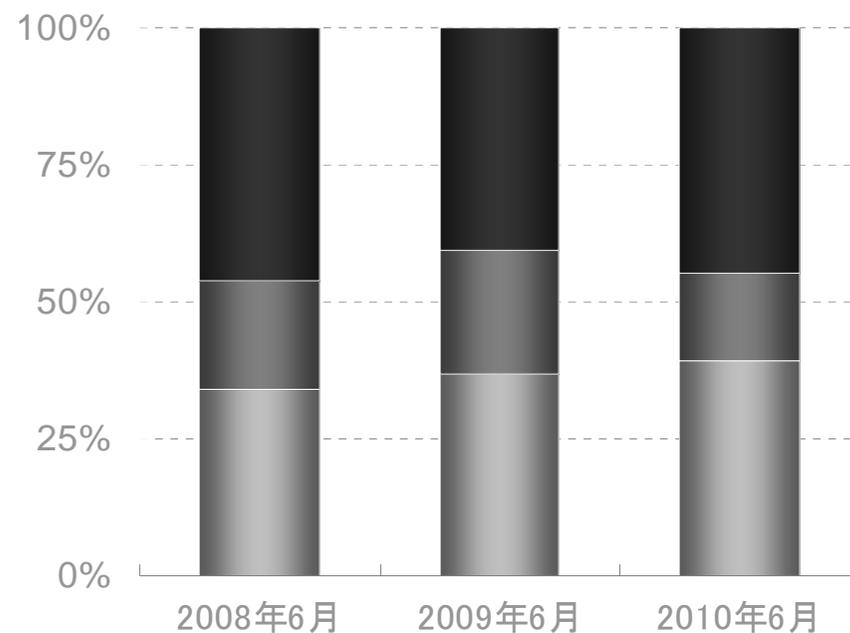
セグメント別粗利※構成

— プリンシパル — ファンド — インベストメントバンキング



ドメイン別粗利※構成

■ 企業
■ 債権
■ 不動産



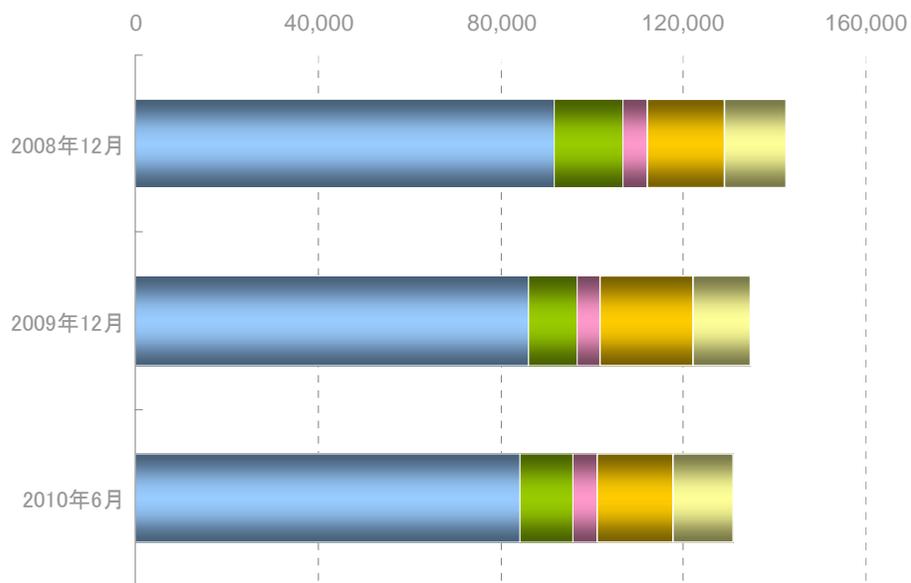
※ ソリューション・ファンドの管理報酬については、外部投資家負担分を粗利として計上しております。

セグメント別・ドメイン別資産構成の推移

セグメント別 資産

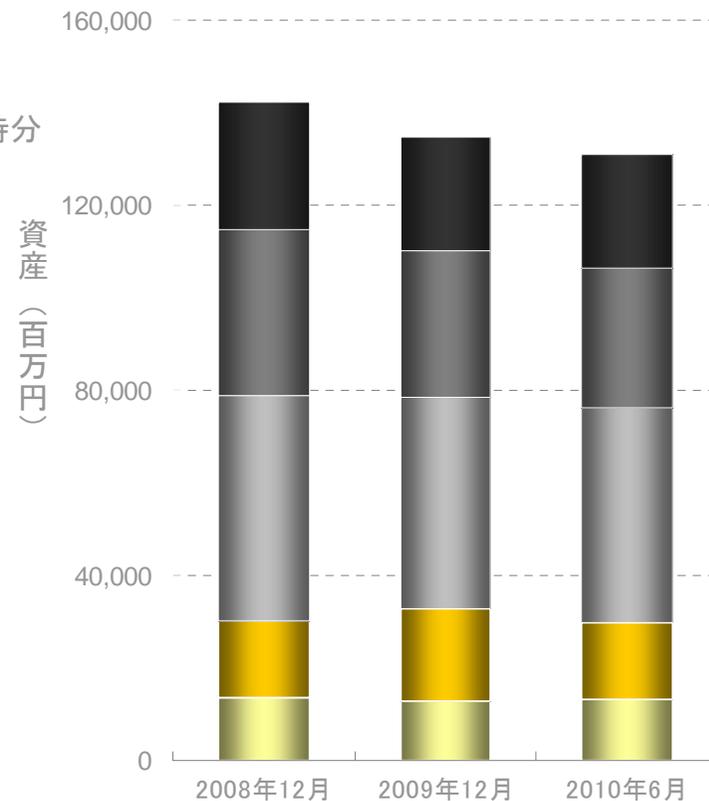
- プリンシパル
- ファンド
- インベストメントバンキング
- その他
- 少数株主持分

資産 (百万円)



ドメイン別 資産

- 企業
- 債権
- 不動産
- その他
- 少数株主持分



プリンシパル投資事業の収益獲得状況

• 企業投資、債権投資、不動産投資事業において、既存投資アセットから着実に収益を獲得しました。

プリンシパル投資事業に関するドメイン別の概況

企業投資

• 投資先のホテル・旅館を中心に安定的に収益が計上され、特に「ホテルJALシティ那覇」は高稼働率を維持し収益確保に貢献しました。

債権投資

• 債権回収を着実に推進し、前期から引き続きコンスタントに収益を計上しました。（年初からの回収額は約44億円、回収益約4億円）

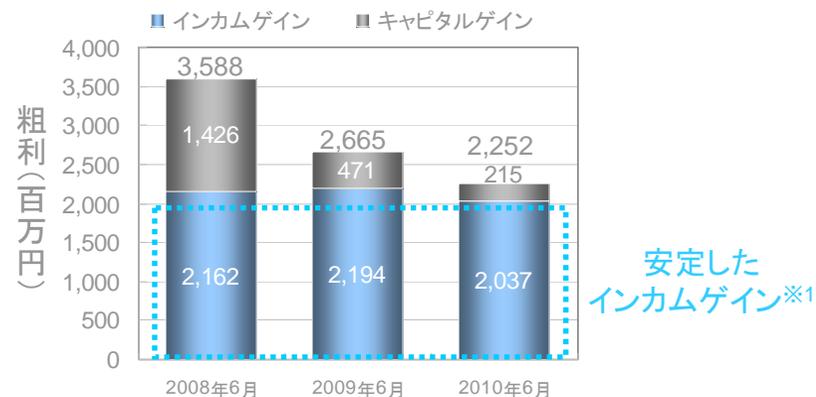
• 不良債権の買取（約12億円）を実施しました。

• 外資系金融機関の撤退に伴う債権売却案件等に積極的に応札しています。

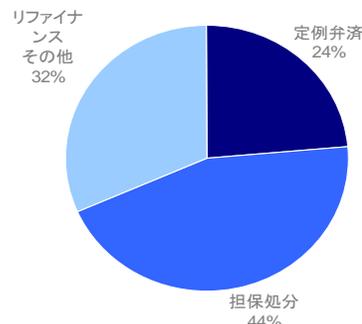
不動産投資

• 収益物件からの賃料により、安定的に収益を確保しました（直近の平均NOI利回りは約6.7%）。

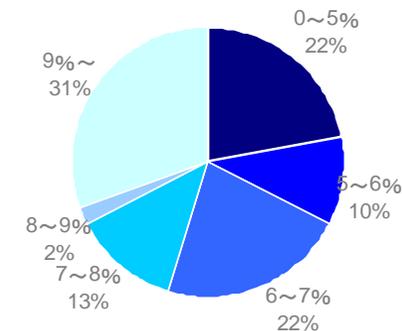
プリンシパル投資事業の粗利の推移



債権の回収原資



収益不動産の平均NOI利回り※2



※1債権回収益のうち半分をインカムゲインに、残り半分をキャピタルゲインに計上しています。

※2土地を除く投資物件別NOI利回りの帳簿価格割合を記載しています。

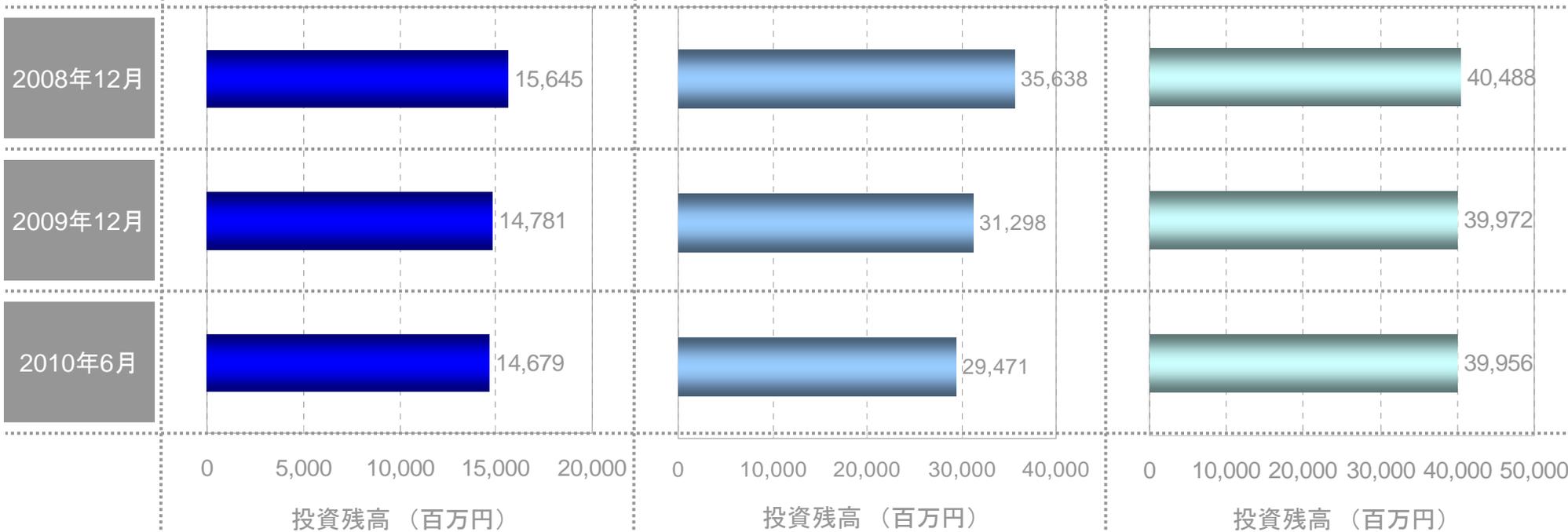
プリンシパル投資事業の投資活動状況

• 投資残高の維持を目安に投資・回収を行い、既存ポートフォリオを安定的にコントロールしました。

企業投資残高

債権投資残高

不動産投資残高

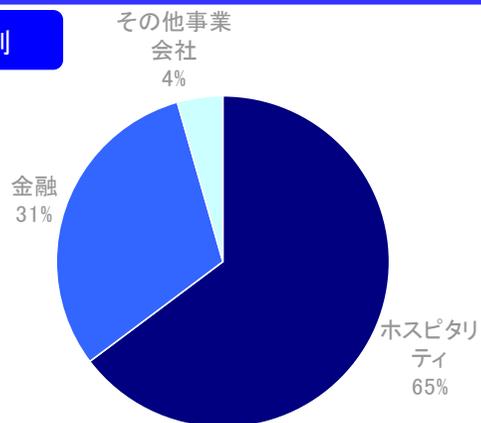


プリンシパル投資事業 投資ポートフォリオ

● 企業投資に関しては、当社と事業シナジーが見込める企業に対して中長期的な投資を行っており、ホスピタリティ関連や金融機関が主な投資対象となります。債権投資に関しては、債務者・業種あたりの投資金額には制約を設けず、案件毎に収益性を精査し、投資を実行しております。不動産投資に関しては、種類・地域には制約を設けず、幅広い投資を行っております。

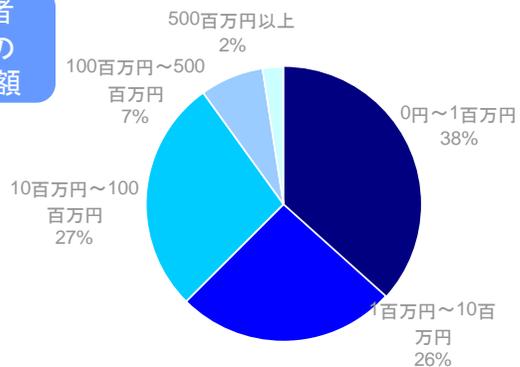
企業投資残高

業種別



債権投資残高

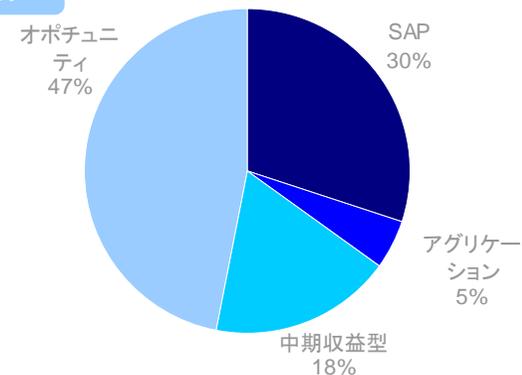
1債務者あたりの投資金額



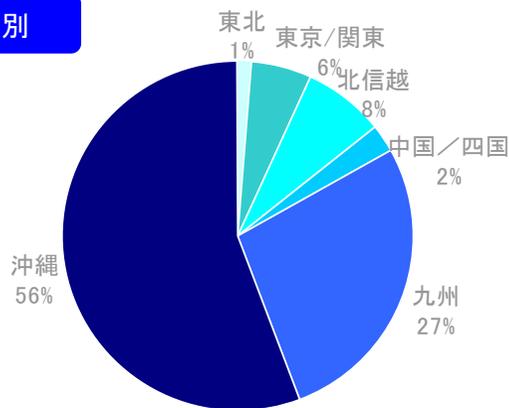
※ 債務者数ベース

不動産投資残高

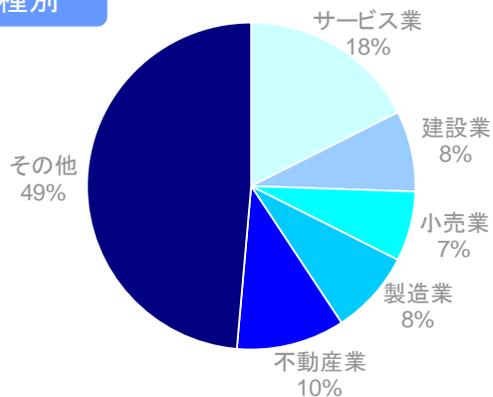
種類別



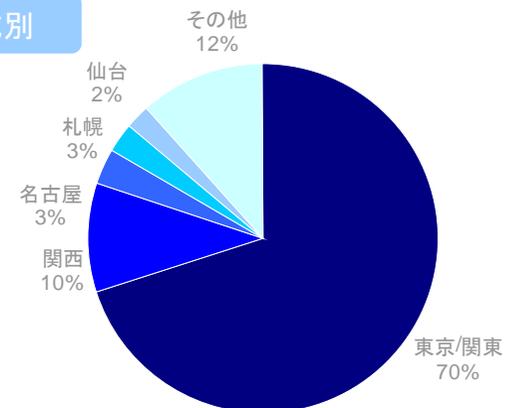
地域別



業種別



地域別



ファンド事業の収益獲得状況

- RCSF、地域企業再生ファンド、不動産共同投資プログラムの運営受託により、ファンド管理報酬を安定収益として確保いたしました。

ファンド事業に関するドメイン別の概況

ソリューション・ファンド

- 前期に引き続き「RCSF1、2号」の管理報酬を獲得しました。
- 一部の投資先企業から配当を獲得しました。

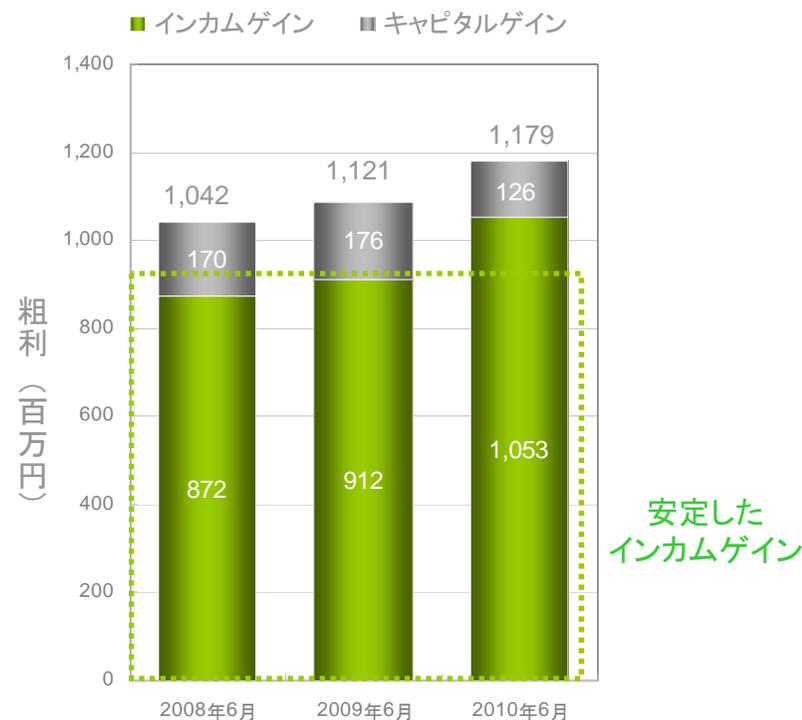
地域企業再生ファンド

- 各地域で展開する地域企業再生ファンドの運営業務に対する管理報酬を中心に安定収益を確保しました。

不動産共同投資

- 共同投資をした物件に対するアセットマネジメント業務を行うことにより、アセットマネジメントフィーを当初の予定通り安定収益として確保しました。

ファンド事業の粗利※の推移



※ ソリューション・ファンドの管理報酬については、外部投資家負担分を計上しております。

ファンド事業の投資活動状況

- ・ソリューション・ファンド、地域企業再生ファンドの投資残高は安定的に推移いたしました。
- ・不動産共同投資プログラムにおいては、物件を売却したため投資残高が減少いたしました。

ソリューション・ファンド全体の投資残高

■ 投資コミット総額 ■ 投資残高

2008年12月



2009年12月



2010年6月



投資コミット総額・投資残高（百万円）

地域企業再生ファンド全体の投資残高

■ 官民ファンドコミット総額 ■ 再生ファンド全体残高



うち官民ファンド投資残高



うち官民ファンド投資残高



うち官民ファンド投資残高

投資コミット総額・投資残高（百万円）

不動産共同投資プログラム全体の投資残高

165,084

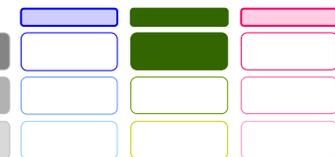
150,669

127,569

投資残高（百万円）

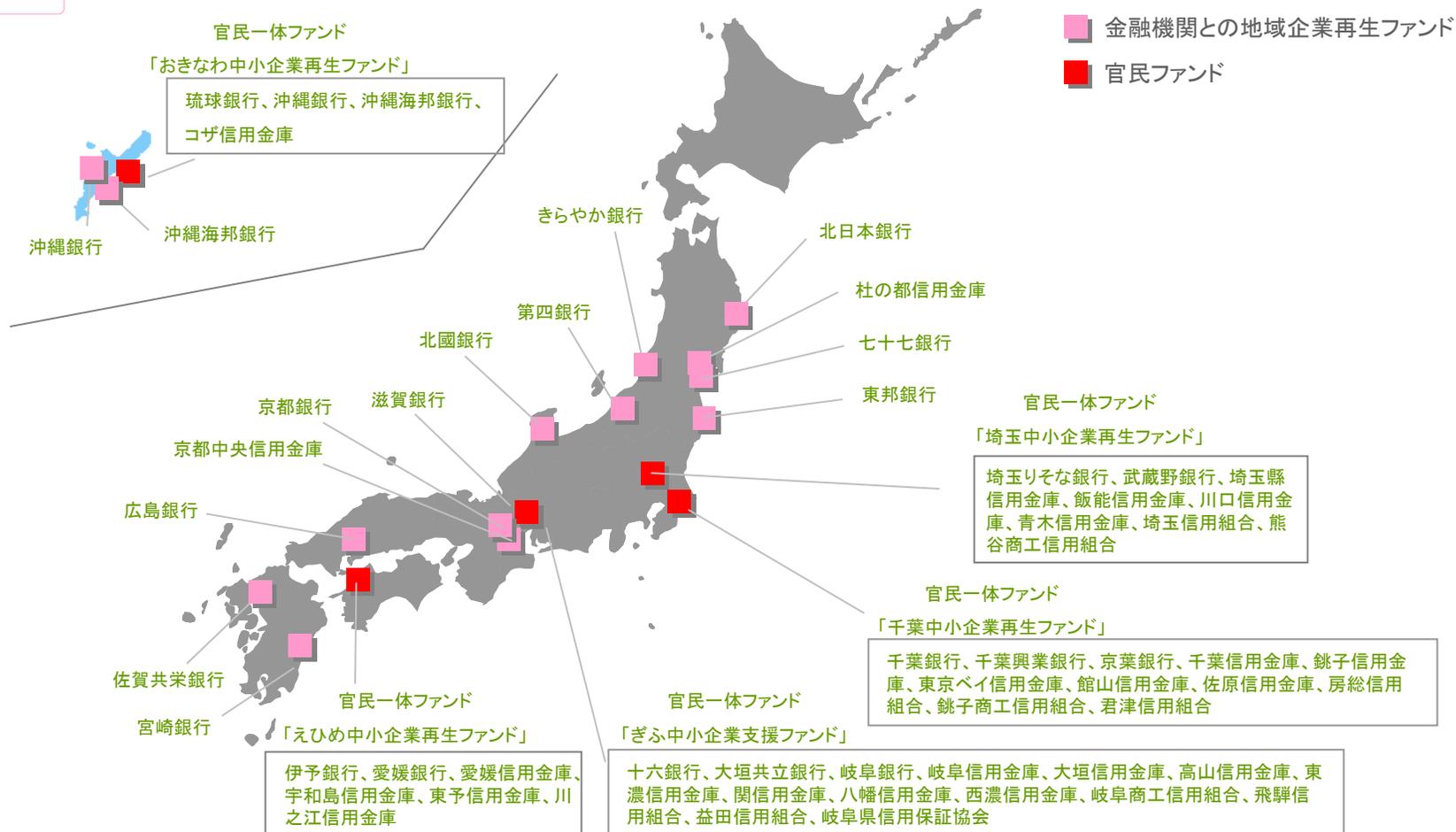
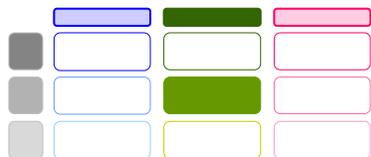
ファンド事業 ソリューション・ファンドの概況

- 金融機関との強いリレーションにより、ビッド案件に参入せずとも、案件を獲得できる体制となっています。
- 投資先企業の業績は概ね順調に推移しています。

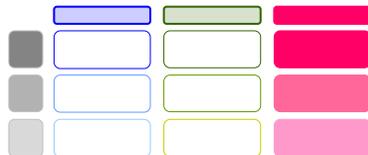


ファンド事業 地域企業再生ファンドの概況

• これまでに20件の地域企業再生ファンドを管理運営をしてまいりました。



インベストメントバンキング事業の収益獲得状況



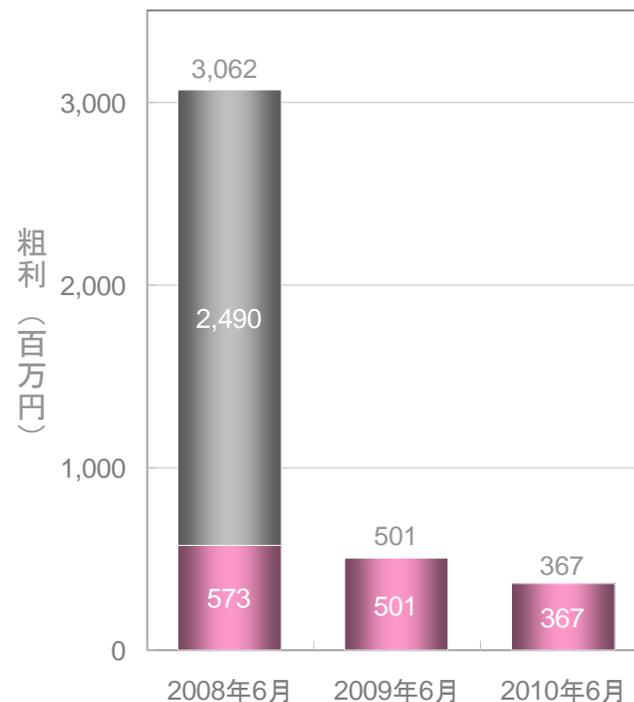
• 当事業では、コーポレート(M&A、金融と不動産のリソースを複合的に活用したソリューション等)、債権(債権の評価やデューデリジェンス、債権回収等)、不動産(不動産アセットマネジメントや不動産仲介等)の各ドメインで専門的なアドバイザーサービスを提供してきました。金融機関との提携ネットワークを活かした事業再編に関わるアドバイザー業務の案件等を受託致しました。

インベストメントバンキング事業の概況

- 広島県が出資する第3セクターのフィナンシャル・アドバイザーを務め、同社のゴルフ場事業の売却に係るアドバイザー業務を受託しました。
- 当社が有する地域金融機関とのネットワークと、これまで培ってきた不動産分野の専門性を生かして、CRE・アドバイザー業務等の案件を受託するなど、手数料収益を獲得しました。

- 当社が有するネットワークを通じて不動産売買の仲介業務を受託し、仲介手数料収益を獲得いたしました。

インベストメントバンキング事業の粗利の推移



■ フィー ■ 大型案件によるフィー



目次

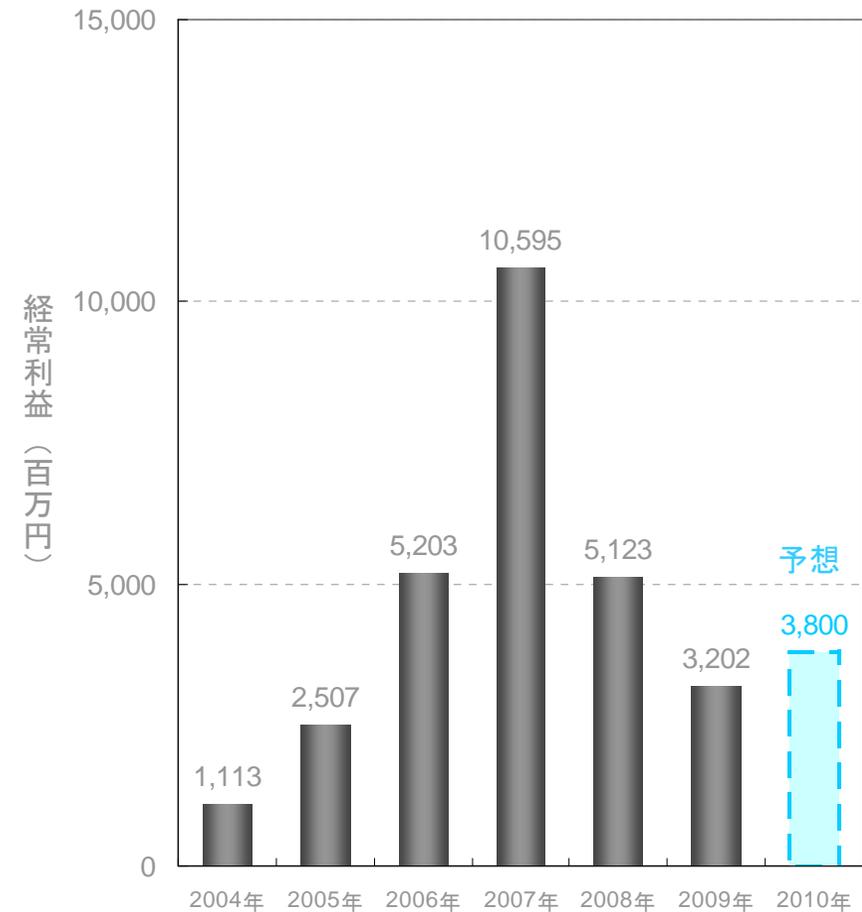
1. 2010年12月期 第2四半期 概況	1
2. 2010年12月期 第2四半期 セグメント別ハイライト	8
3. 2010年12月期の見通し	20

2010年12月期の収益見通し

•2010年12月期に関しては、売上高360億円、営業利益67億円、経常利益38億円、当期純利益18億円と予想しております。

単位：百万円

	2009年12月期	2010年12月期	
	実績値	予想値	前期比
売上高	19,859	36,000	81.3%
営業利益	5,092	6,700	31.6%
経常利益	3,202	3,800	18.6%
当期純利益	-2,786	1,800	—
1株当り純利益(円)	-9,740.55	5,742.18	—
1株当り配当(円)	1,500.00	1,500.00	—



連絡先

株式会社リサ・パートナーズ

財務本部 経営戦略部

東京都港区赤坂1-11-44
赤坂インターシティ 5階

TEL 03.5573.8011 (代表)

FAX 03.5573.8012

www.risa-p.com



- 本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料は、2010年8月11日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものでなく、今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料の著作権は当社に帰属しております。したがって、当社の事前の承諾なく本資料の全部または一部の転載(ウェブ等への転載を含む)、複製、配布、改変等を行うことはできません。